

## 外国の病院に学ぶ感染予防対策 ヨーロッパの病院清掃システムについての考察(その2)

(株)メディカル・マネジメント・サポート<sup>1)</sup>、オービス環境マネジメント研究所<sup>2)</sup>、  
石川県立中央病院呼吸器内科<sup>3)</sup>、自治医科大学麻酔科<sup>4)</sup>、公立豊岡病院組合梁瀬病院薬局<sup>5)</sup>、  
蒲郡市民病院薬局<sup>6)</sup>、済生会新潟第二病院麻酔科<sup>7)</sup>、衆和会桜町病院看護部<sup>8)</sup>、  
がん研究会附属病院看護部<sup>9)</sup>、明治製菓(株)学術部<sup>10)</sup>、  
古田信弘<sup>1)</sup>、向井征二<sup>2)</sup>、西耕一<sup>3)</sup>、粕田晴之<sup>4)</sup>、由良秀典<sup>5)</sup>、岡田成彦<sup>6)</sup>、市川高夫<sup>7)</sup>、  
豊福睦子<sup>8)</sup>、川浪慶子<sup>9)</sup>、波多江新平<sup>10)</sup>

はじめに 以前に当学会にてヨーロッパの院内清掃システムについて発表した、その後  
2年間に7回延べ20病院の視察を通じて得たことを紹介する。

埃の除去を重要視し、埃の溜まりにくく、掃除しやすい建築構造、材質などは以前に述べ  
たが、病室、ICU、手術室等各国の病院でそれぞれ細部に及ぶ視察を通じて、共通の基  
本的な考え方を知る機会を得た。

状況 手術室等については、空調に関しては我が国より基準値が緩やかなクラス100,000  
が主流であるものの、日常各手術後、手術台を熱湯洗浄機により洗浄し、床はポリッシャ  
ー、あるいは自動床洗浄機で洗浄を行っている。病棟床面においては、患者退室後あるい  
は廊下では定期的にバフイング作業(鏡面仕上げ)により、床表面の平滑管理を行い、埃  
や汚れの除去性を高める対策を行っている。また日常の清拭方法も、近年オフロケーショ  
ン方式が急速に普及している。

考察 これらは何れも、我が国が消毒により清浄度回復が出来るという考え方が主流であ  
るのに対し、ヨーロッパでは消毒剤使用による耐性、環境に対する影響また経済的な面も  
配慮し、消毒剤の使用を必要最小限にし、温湯熱湯あるいは洗剤の界面活性力、また清掃  
道具も機能的に利用した物理的除去、いわゆる掃除で清浄度を維持するという考え方に基  
づくものである。

これらのために建築・清掃・医療器械・廃棄物等各関連業界、医療部門、事務部門など実  
に機能的に連携研究対策がなされている。